



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 東亜合成株式会社
 コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3597-7215

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	35,198	5.8	4,799	18.8	4,952	19.3	3,546	30.7
28年12月期第1四半期	33,264	5.1	4,038	43.6	4,150	43.4	2,713	58.4

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 4,243百万円 (%) 28年12月期第1四半期 494百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	26.94	
28年12月期第1四半期	20.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	220,115	175,365	77.4
28年12月期	219,520	173,003	76.5

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 170,442百万円 28年12月期 167,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		13.00		13.00	26.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		13.00		13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,500	0.9	7,700	5.9	8,100	6.7	5,500	11.2	41.78
通期	138,000	1.9	16,300	0.9	16,800	0.8	11,400	17.4	86.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	131,996,299 株	28年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	354,130 株	28年12月期	353,240 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	131,642,721 株	28年12月期1Q	131,650,342 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日まで）における当社グループの業績は、売上高は351億9千8百万円（前年同期比5.8%増収）、営業利益は47億9千9百万円（前年同期比18.8%増益）、経常利益は49億5千2百万円（前年同期比19.3%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億4千6百万円（前年同期比30.7%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

当社は、従来、報告セグメントを「基礎化学品事業」、「アクリル製品事業」、「機能製品事業」および「樹脂加工製品事業」の4つの区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、「基幹化学品事業」、「ポリマー・オリゴマー事業」、「接着材料事業」、「高機能無機材料事業」および「樹脂加工製品事業」の5つの区分に変更いたしました。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「成長への軌道 2019」の戦略を推進するために、平成29年1月1日付で実施いたしました組織改編を反映したものであります。

なお、本セグメント区分の変更に伴い、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間の数値と比較しております。

①基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダや無機塩化物の販売が好調に推移し増収となりました。アクリルモノマー製品は、販売数量が全般的に増加したことに加え主要原料価格の上昇に伴い製品価格の是正を進めたことなどから増収となりました。工業用ガスは、底堅い需要により前年並みとなりました。これらの結果、当セグメントの売上高は163億9千9百万円（前年同期比9.6%増収）となりました。

営業利益は、アクリルモノマー製品の増販と製品価格の是正のほか、電解製品の原燃料価格が安定推移したことなどから、17億5千6百万円（前年同期比61.1%増益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、化粧品原料や車載用材料などに使用される高付加価値製品の販売が堅調に推移しました。アクリルオリゴマーは、電子材料向けなどに使用される高機能製品の販売好調により増収となりました。高分子凝集剤は、販売価格は軟調に推移しましたが販売数量の増加により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は67億6千3百万円（前年同期比2.3%増収）となりました。

営業利益は、アクリルオリゴマーは増益でしたが、高分子凝集剤の価格下落やアクリルポリマーの固定費増加などから、11億5百万円（前年同期比2.7%減益）となりました。

③接着材料事業

瞬間接着剤は、国内販売は堅調でしたが海外での販売が為替の影響を受けたことなどから減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の需要が回復したことに加え、光硬化型やホットメルト型接着剤の販売も堅調に推移し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は29億1千万円（前年同期比3.5%増収）となりました。

営業利益は、国内における瞬間接着剤の広告宣伝費など固定費負担の増加が利益圧迫要因となりましたが機能性接着剤の増販が寄与し、7億2千7百万円（前年同期比7.7%増益）となりました。

④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの需要拡大により液化塩化水素などの販売が伸長し増収となりました。無機機能材料は、機能性衣料などに使用される消臭剤や電子部品向けイオン捕捉剤の販売が好調に推移し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は18億5千8百万円（前年同期比11.1%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品や無機機能材料の増販が寄与し、5億9千9百万円（前年同期比41.1%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、都市部における建築需要の増加など市場環境は拡大基調にありますが販売競争激化による価格下落の影響などから減収となりました。ライフサポート製品は、新製品の投入などが寄与し増収となりました。エラストマーは、医療や飲料分野向けの製品販売が好調に推移し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は64億5百万円（前年同期比0.4%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の値下がりや法人事業税などの固定費増加の影響などから、5億3千9百万円（前年同期比15.6%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は8億6千1百万円（前年同期比10.6%増収）、営業利益は6千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、株価の上昇に伴い「投資有価証券」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ5億9千4百万円、0.3%増加し、2,201億1千5百万円となりました。

負債合計は、法人税等の納付により「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ17億6千7百万円、3.8%減少し、447億4千9百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ23億6千2百万円、1.4%増加し、1,753億6千5百万円となり、自己資本比率は77.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月7日に公表した予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966	25,598
受取手形及び売掛金	40,302	40,213
有価証券	44,000	47,000
たな卸資産	14,162	14,529
その他	1,713	1,536
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	129,110	128,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,572	18,334
機械装置及び運搬具(純額)	20,917	20,288
土地	17,135	17,133
その他(純額)	3,327	3,319
有形固定資産合計	59,953	59,076
無形固定資産		
	500	509
投資その他の資産		
投資有価証券	26,983	28,643
退職給付に係る資産	1,229	1,310
その他	1,757	1,747
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	29,955	31,686
固定資産合計	90,409	91,272
資産合計	219,520	220,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,729	14,096
短期借入金	2,502	2,503
未払法人税等	4,142	1,023
引当金	18	738
その他	9,126	8,978
流動負債合計	29,519	27,340
固定負債		
長期借入金	9,805	9,805
退職給付に係る負債	158	160
その他	7,034	7,444
固定負債合計	16,997	17,409
負債合計	46,517	44,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,799	16,799
利益剰余金	120,999	122,835
自己株式	△278	△279
株主資本合計	158,407	160,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,955	8,760
為替換算調整勘定	1,922	1,710
退職給付に係る調整累計額	△296	△271
その他の包括利益累計額合計	9,582	10,200
非支配株主持分	5,012	4,922
純資産合計	173,003	175,365
負債純資産合計	219,520	220,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	33,264	35,198
売上原価	23,689	24,482
売上総利益	9,575	10,716
販売費及び一般管理費	5,536	5,917
営業利益	4,038	4,799
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	166	90
持分法による投資利益	112	114
固定資産賃貸料	40	18
その他	21	60
営業外収益合計	359	301
営業外費用		
支払利息	26	23
為替差損	108	70
遊休設備費	26	18
環境整備費	20	25
その他	66	10
営業外費用合計	248	148
経常利益	4,150	4,952
特別利益		
固定資産売却益	—	369
補助金収入	—	34
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	410
特別損失		
固定資産処分損	52	141
特別損失合計	52	141
税金等調整前四半期純利益	4,097	5,221
法人税等	1,266	1,589
四半期純利益	2,831	3,632
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,713	3,546

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	2,831	3,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,831	805
為替換算調整勘定	△512	△220
退職給付に係る調整額	18	25
その他の包括利益合計	△3,326	610
四半期包括利益	△494	4,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△559	4,164
非支配株主に係る四半期包括利益	64	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,962	6,608	2,811	1,672	6,430	32,486	778	33,264	—	33,264
セグメント間の内部 売上高または振替高	829	304	111	191	—	1,436	1,699	3,135	△3,135	—
計	15,791	6,913	2,922	1,863	6,430	33,922	2,478	36,400	△3,135	33,264
セグメント利益	1,090	1,136	675	425	639	3,967	48	4,015	23	4,038

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	16,399	6,763	2,910	1,858	6,405	34,337	861	35,198	—	35,198
セグメント間の内部 売上高または振替高	907	287	141	7	0	1,343	1,740	3,084	△3,084	—
計	17,306	7,051	3,051	1,865	6,405	35,681	2,602	38,283	△3,084	35,198
セグメント利益	1,756	1,105	727	599	539	4,729	69	4,799	0	4,799

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、報告セグメントを「基礎化学品事業」、「アクリル製品事業」、「機能製品事業」および「樹脂加工製品事業」の4つの区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、「基幹化学品事業」、「ポリマー・オリゴマー事業」、「接着材料事業」、「高機能無機材料事業」および「樹脂加工製品事業」の5つの区分に変更いたしました。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「成長への軌道 2019」の戦略を推進するために、平成29年1月1日付で実施いたしました組織改編を反映したものであり、当社グループの経営管理の実態を適正に表示するためのものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

各報告セグメントに属する主要製品は、下記のとおりであります。

セグメント	主要製品
報告セグメント	
基幹化学品事業	カセイソーダ、カセイカリ、次亜塩素酸ソーダなどの電解製品、硫酸、工業用ガス、アクリル酸、アクリル酸エステルなどのアクリルモノマー等
ポリマー・オリゴマー事業	アクリルポリマー、高分子凝集剤、光硬化型樹脂などのアクリルオリゴマー等
接着材料事業	瞬間接着剤、機能性接着剤等
高機能無機材料事業	高純度無機化学品、無機機能材料等
樹脂加工製品事業	管工機材製品、建材・土木製品、ライフサポート製品、エラストマー等

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。